

●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 ※開講学年前期後期欄 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考		
			1年			2年			3年			4年			必修				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	必修				
学部 共通 専門 科目	ベーシック数学	半期	●		2													「ベーシック数学」「ベーシック物理学」は進級・卒業単位に含まない。 「学部共通専門科目」から20単位以上を修得すること。 卒業研究IIは卒業試験を含む	
	ベーシック物理学	半期	●		2														
	物理学Ⅰ	半期		●	2												◎		
	物理学Ⅱ	半期				●		2									◎		
	化学	半期	●		2														
	微分積分学Ⅰ	半期	●		2												◎		
	微分積分学Ⅱ	半期		●	2												◎		
	線形代数学	半期	●		2												◎		
	微分方程式	半期				●		2											
	確率統計学	半期					●	2											
	自然科学実験ファンダメンタルズ	半期	●		2														
	AI活用の基礎	半期										●		2					
	データサイエンス活用の基礎	半期										●		2					
	情報セキュリティ技術の基礎	半期										●		2					
	技術者倫理	半期									2								
	知的所有権	半期								2									
	フレッシュパーソンセミナー	半期	●		2												◎		
	ジュニアセミナー	半期							●	2							◎		
	卒業研究Ⅰ	半期										●		3			◎		
	卒業研究Ⅱ	半期											●	3			◎		
学外見学	半期							●	1										
インターンシップ	半期							●	1										
学科 専門 科目	基礎 科目	電磁気学Ⅰ	半期			●		2									◎	「基礎科目」から28単位以上を修得すること。	
		電磁気学演習Ⅰ	半期				●	1									◎		
		電磁気学Ⅱ	半期					●	2								◎		
		電磁気学演習Ⅱ	半期						●	1									
		電気回路学Ⅰ	半期				●		2										◎
		電気回路学演習Ⅰ	半期					●	1										◎
		電気回路学Ⅱ	半期						●	2									◎
		電気回路学演習Ⅱ	半期							●	1								
		電気電子基礎工学	半期		●	2										◆必	◎		
		プログラミング基礎	半期		●	2													◎
		オブジェクト指向プログラミング	半期					●	2							◆			
		アナログ電子回路学	半期							●		2							
		デジタル電子回路学	半期								●	2							
		電気・電子基礎計測	半期					●		2						◆			
		電気・電子工学セミナー	半期							●		1							◎
		エンジニアリング英語	半期								●	2							
		電気・電子工学実験Ⅰ	半期					●		2									◎
		電気・電子工学実験Ⅱ	半期						●	2									◎
		電気・電子工学実験Ⅲ	半期								●		2						◎
		電気・電子工学実験Ⅳ	半期									●	2						◎
基礎 科目	第1類	応用数学	半期				●		2									「第1類」から6単位以上履修すること。	
		通信システム概論	半期									●		2	◆				
		電磁波工学	半期								●		2						
		電波法	半期									●	2						
		電気法規及び施設管理	半期										●	2	◆				
	電気機械設計製図	半期										●	2	◆					
	第2類	制御工学	半期								●	2						「第2類」から6単位以上履修すること。	
		システム工学	半期									●	2						
		ハードウェア工学	半期						●	2					◆				「基礎科目」から12単位以上履修すること。
		ソフトウェア工学	半期							●	2				◆				
電子物性工学		半期						●	2										
電子機械工学	半期										●	2	◆						

●—原則としてその学期で開講。
 ※開講学年前期後期欄 ○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考	
			1年			2年			3年			4年			必修			
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
学科専門科目	電力・制御系	電磁エネルギー変換工学	半期							●		2				◆		「電力・制御系」から4単位以上履修すること。
		パワーエレクトロニクス	半期								●	2						
		高電圧工学	半期								●	2						
		電力発生工学	半期							●		2				◆		
		電力系統工学	半期							●		2				◆		
	情報・通信系	電力応用工学	半期										●		2			「情報・通信系」から4単位以上履修すること。
		情報通信工学	半期							●		2						
		音響通信工学	半期								●	2						
		画像処理工学	半期							●		2						
		環境電磁工学概論	半期								●	2						
	電子・材料系	ネットワークプログラミング	半期										●		2			「電子・材料系」から4単位以上履修すること。 「応用科目」から18単位以上履修すること。
		デジタル信号処理	半期							●		2						
		固体物性工学	半期							●		2						
		電気電子材料工学	半期							●		2				◆		
		ナノテクノロジー工学	半期								●	2						
特別講義	電子デバイス工学	半期								●	2				◆			
	集積デバイス工学	半期										●		2	◆			
	化学材料工学	半期							●		2							
	特別講義	半期		●	2													

●—原則としてその学期で開講。
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
 ※開講学年前期後期欄
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考
			1年			2年			3年			4年			必修		
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位			
教育職員免許状の教科に関する科目	工業技術概論	半期												●	2	◆必	
	工学系の職業指導	半期												●	2	◆必	
	電気電子系の職業指導	半期												●	2	◆必	
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2											◆必	
	教育基礎論	半期	●		2											◆必	
	教育の制度と経営	半期		●	2											◆必	
	教育心理学	半期							2							◆必	
	教育課程論	半期				●		2								◆必	
	ICT活用の理論と方法	半期									2					◆必	
	教育の方法と技術	半期						2								◆必	
	教育相談の理論と方法	半期						2								◆必	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2								◆必	
	工業科教育法(概論・理論)	半期							●		2					◆必	
	工業科教育法(実践・応用)	半期								●	2					◆必	
	特別支援教育論	半期									2					◆必	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2					◆必	
	教育実習Ⅰ	通年													3	◆必	
教職実践演習(中・高)	半期												●	2	◆必		

◆卒業要件 (卒業に必要な最低修得単位数)

区分	単位数		
教養教育科目	人間的基礎	10	
	TGベーシック	知的基礎	6
		課題探究	6
		人文系	4
	共通教養科目	社会系	4
		自然系	4
外国語科目 第1類		4	
学部共通専門科目	20		
学科専門科目	基礎科目	28	
	基盤科目	第1類	6
		第2類	6
	応用科目	電力・制御系	4
		情報・通信系	4
		電子・材料系	4
上記以外の選択科目	14		
合計	124		

◆進級要件 (4年次進級に必要な最低修得単位数)

区分	単位数
教養教育科目	30
外国語科目 第1類	
学部共通専門科目 (ジュニアセミナーを含むこと)	14
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと) 1 電気・電子工学実験Ⅰ 2 電気・電子工学実験Ⅱ 3 電気・電子工学実験Ⅲ 4 電気・電子工学実験Ⅳ	50
進級単位	94

〈カリキュラムマップの見方〉

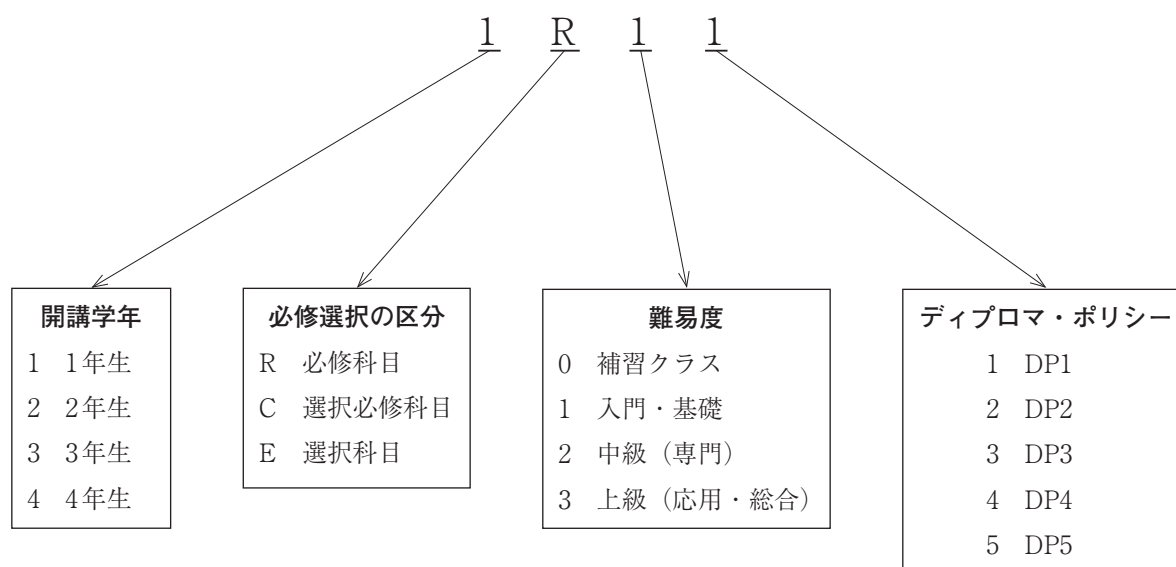
カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が、全学共通の5つの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）のうちどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目について◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。なお、DP5の細項目は、各学科の専門科目の学修によって達成を目指している方針・目標となります。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解し、履修の順序についてもしっかりと計画を立てておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。

右端の「ディプロマ・ポリシー」とは、その科目が最も達成しようとしている方針（DP）がどれかを示しています。



(1) 工学部 電気電子工学科 カリキュラムマップ (学位授与の方針との対応)

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる (現代をよく 生きる)	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる(汎 用的技能・能力)	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる (課題発見・ 解決)	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる (多面的 認識、思考)	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる (専門分野 の学修)
1R11	聖書を学ぶ	◎				
1R11	キリスト教の歴史と思想	◎				
3C21	キリスト教学 A (キリスト教と倫理)	◎				
3C21	キリスト教学 B (キリスト教と宗教)	◎				
3C21	キリスト教学 C (キリスト教と文化)	◎				
3C21	キリスト教学 D (キリスト教と現代社会)	◎				
2C11	共生社会と倫理	◎			○	
2C11	科学技術社会と倫理	◎			○	
1C11	よき社会生活のために A (法律)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために B (福祉)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために C (健康)	◎			○	
1C12	リーディング&ライティング		◎			
1C12	クリティカル・シンキング		◎			
1R12	情報リテラシー		◎		○	
1C12	統計的思考の基礎		◎		○	
1C12	科学的思考の基礎		◎		○	
1C13	キャリア形成の探究	○		◎		
3C13	東北学院史の探究	○		◎		
2C23	データ活用による探究		○	◎		
1C13	地域ボランティア活動の探究	○		◎		
2C23	地域課題の探究		○	◎	○	
1C23	課題探究演習		○	◎		
1E14	哲学				◎	
1E14	芸術論	○			◎	
1E14	文化の歴史				◎	
1E14	音楽	○			◎	
1E14	倫理学				◎	
1E14	文学				◎	
1E14	歴史学	○			◎	
1E14	文化人類学	○			◎	
1E14	言語論				◎	
1E14	心理学				◎	
1E14	社会学				◎	
1E14	経営学				◎	
1E14	経済学				◎	
1E14	法学				◎	
1E14	日本国憲法	○			◎	
1E14	現代の政治	○			◎	
1E14	地理学				◎	
1E14	社会福祉論				◎	
1E14	ジェンダー論				◎	
1E14	東北地域論				◎	
1E14	数理の科学				◎	
1E14	記号論理学		○		◎	
1E14	生命の科学				◎	
1E14	環境の科学				◎	
1E14	自然の科学				◎	
1E14	先端科学と技術				◎	
1E14	AI 社会の基礎		○		◎	
1R12	英語 I A		◎		○	
1R12	英語 I B		◎		○	
2R22	英語 II A		◎		○	
2R22	英語 II B		◎		○	
1C12	ドイツ語 I A		◎		○	
1C12	フランス語 I A		◎		○	
1C12	中国語 I A		◎		○	
1C12	韓国・朝鮮語 I A		◎		○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1C12	ドイツ語ⅠB		○		○	
1C12	フランス語ⅠB		○		○	
1C12	中国語ⅠB		○		○	
1C12	韓国・朝鮮語ⅠB		○		○	
2E22	ドイツ語ⅡA		○		○	
2E22	フランス語ⅡA		○		○	
2E22	中国語ⅡA		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語ⅡA		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーションA		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーションA		○		○	
2E22	中国語コミュニケーションA		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーションA		○		○	
2E22	ドイツ語ⅡB		○		○	
2E22	フランス語ⅡB		○		○	
2E22	中国語ⅡB		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語ⅡB		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーションB		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーションB		○		○	
2E22	中国語コミュニケーションB		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーションB		○		○	
3E32	ドイツ語ⅢA		○		○	
3E32	フランス語ⅢA		○		○	
3E32	中国語ⅢA		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語ⅢA		○		○	
3E32	ドイツ語ⅢB		○		○	
3E32	フランス語ⅢB		○		○	
3E32	中国語ⅢB		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語ⅢB		○		○	
1E02	ベーシック英語		○		○	
1E12	英語コミュニケーション		○		○	
3E32	英語ⅢA		○		○	
3E32	英語ⅢB		○		○	
1E11	スポーツ実技A	○				
1E11	スポーツ実技B	○				
1E12	体育講義		○			
2E32	海外研究A		○		○	
1E22	海外研究B		○		○	
1E12	海外研究C		○		○	
1E12	日本語ⅠA		○			
1E12	日本語ⅠB		○			
2E12	日本語ⅡA		○			
2E12	日本語ⅡB		○			
1E05	基礎数学（ベーシック数学）			○		○
1E05	基礎物理（ベーシック物理学）			○		○
1R12	物理学Ⅰ		○		○	
2E12	物理学Ⅱ		○		○	
1E15	化学			○		○
1R12	微分積分学Ⅰ		○		○	
1R12	微分積分学Ⅱ		○		○	
1R12	線形代数学		○		○	
2E12	微分方程式		○		○	
2E12	確率統計学		○		○	
1R12	自然科学実験ファンダメンタルズ		○		○	
4E32	AI活用の基礎		○		○	
4E32	データサイエンス活用の基礎		○		○	
4E32	情報セキュリティ技術の基礎		○		○	
4E24	技術者倫理			○	○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
4E24	知的所有権			○	◎	
1R15	フレッシュパーソンセミナー			○		◎
3R23	ジュニアセミナー			◎		○
4R33	卒業研究Ⅰ			◎		○
4R33	卒業研究Ⅱ			◎		○
3E35	学外見学				○	◎
3E33	インターンシップ			◎		○
2R25	電磁気学Ⅰ		○			◎
2R25	電磁気学演習Ⅰ		○			◎
2R25	電磁気学Ⅱ		○			◎
2E25	電磁気学演習Ⅱ		○			◎
2R25	電気回路学Ⅰ		○			◎
2R25	電気回路学演習Ⅰ		○			◎
2R25	電気回路学Ⅱ		○			◎
2E25	電気回路学演習Ⅱ		○			◎
1R15	電気電子基礎工学		○			◎
1R15	プログラミング基礎		○			◎
2E25	オブジェクト指向プログラミング		○			◎
3E25	アナログ電子回路学		○			◎
3E25	デジタル電子回路学		○			◎
2E25	電気・電子基礎計測		○			◎
3R25	電気・電子工学セミナー			○		◎
3E22	エンジニアリング英語		◎			○
2R25	電気・電子工学実験Ⅰ		○			◎
2R25	電気・電子工学実験Ⅱ		○			◎
3R25	電気・電子工学実験Ⅲ		○			◎
3R25	電気・電子工学実験Ⅳ		○			◎
2E25	応用数学		○			◎
4E25	通信システム概論		○			◎
3E25	電磁波工学		○			◎
3E25	電波法		○			◎
4E25	電気法規及び施設管理		○			◎
3E25	電気機械設計製図		○			◎
3E25	制御工学		○			◎
4E25	システム工学		○			◎
2E25	ハードウェア工学		○			◎
3E25	ソフトウェア工学		○			◎
2E25	電子物性工学		○			◎
4E25	電子機械工学		○			◎
3E35	電磁エネルギー変換工学		○			◎
3E35	パワーエレクトロニクス		○			◎
3E35	高電圧工学		○			◎
3E35	電力発生工学		○			◎
3E35	電力系統工学		○			◎
4E35	電力応用工学		○			◎
3E35	情報通信工学		○			◎
3E35	音響通信工学		○			◎
3E35	画像処理工学		○			◎
3E35	環境電磁工学概論		○			◎
4E35	ネットワークプログラミング		○			◎
3E35	デジタル信号処理		○			◎
3E35	固体物性工学		○			◎
3E35	電気電子材料工学		○			◎
3E35	ナノテクノロジー工学		○			◎
3E35	電子デバイス工学		○			◎
4E35	集積デバイス工学		○			◎
3E35	化学材料工学		○			◎

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1E12	特別講義		◎		○	
4E25	工業技術概論					◎
4E25	工学系の職業指導					◎
4E25	電気電子系の職業指導					◎
1E14	現代教職論				◎	
1E14	教育基礎論				◎	
1E14	教育の制度と経営				◎	
2E24	教育心理学				◎	
2E24	教育課程論				◎	
3E34	ICT 活用の理論と方法				◎	
2E24	教育の方法と技術				◎	
2E24	教育相談の理論と方法				◎	
2E24	生徒指導・進路指導の理論と方法				◎	
3E35	工業科教育法（概論・理論）					◎
3E35	工業科教育法（実践・応用）					◎
3E34	特別支援教育論				◎	
3E34	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法				◎	
4E33	教育実習 I			◎		
4E33	教職実践演習（中・高）			◎		

(2) 工学部 電気電子工学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果		
		1	2	3
		電気電子工学の基礎となる数学や自然科学及び電気電子分野の専門基礎知識に基づき、個々の専門分野に固有の認識や思考方法について、それらの概要を説明することができる。(専門的認識・思考)	電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系の専門分野の基礎知識を活用して自主的な学修を進めるとともに、卒業研究では研究成果をとりまとめ、その概要を説明することができる。(専門的技能)	社会が要求する問題を解決するために、科学技術に関する情報を自ら積極的に入手し、課題に関する分析や解決策について工学的見地から意見を述べることができる。(科学的分析・解決)
1E05	基礎数学(ベーシック数学)	○		
1E05	基礎物理(ベーシック物理学)	○		
1R12	物理学Ⅰ	○		
2E12	物理学Ⅱ	○		
1E15	化学	○		
1R12	微分積分学Ⅰ	○		
1R12	微分積分学Ⅱ	○		
1R12	線形代数学	○		
2E12	微分方程式	○		○
2E12	確率統計学	○		○
1R12	自然科学実験ファンダメンタルズ	○		
4E32	AI活用の基礎	○		○
4E32	データサイエンス活用の基礎	○		○
4E32	情報セキュリティ技術の基礎	○		○
4E24	技術者倫理			○
4E24	知的所有権			○
1R15	フレッシュパーソンセミナー	○		
3R23	ジュニアセミナー		○	
4R33	卒業研究Ⅰ		○	
4R33	卒業研究Ⅱ		○	
3E35	学外見学			○
3E33	インターンシップ			○
2R25	電磁気学Ⅰ	○		
2R25	電磁気学演習Ⅰ	○		
2R25	電磁気学Ⅱ	○		
2E25	電磁気学演習Ⅱ	○		
2R25	電気回路学Ⅰ	○		
2R25	電気回路学演習Ⅰ	○		
2R25	電気回路学Ⅱ	○		
2E25	電気回路学演習Ⅱ	○		
1R15	電気電子基礎工学	○		
1R15	プログラミング基礎	○		○
2E25	オブジェクト指向プログラミング	○		○
3E25	アナログ電子回路学	○		
3E25	デジタル電子回路学	○		
2E25	電気・電子基礎計測	○		
3R25	電気・電子工学セミナー		○	
3E22	エンジニアリング英語	○		
2R25	電気・電子工学実験Ⅰ		○	
2R25	電気・電子工学実験Ⅱ		○	
3R25	電気・電子工学実験Ⅲ		○	
3R25	電気・電子工学実験Ⅳ		○	
2E25	応用数学	○		
4E25	通信システム概論	○		
3E25	電磁波工学	○		
3E25	電波法	○		○
4E25	電気法規及び施設管理	○		○
3E25	電気機械設計製図	○		
3E25	制御工学	○		
4E25	システム工学	○		
2E25	ハードウェア工学	○		
3E25	ソフトウェア工学	○		
2E25	電子物性工学	○		
4E25	電子機械工学	○		

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果		
		1	2	3
		電気電子工学の基礎となる数学や自然科学及び電気電子分野の専門基礎知識に基づき、個々の専門分野に固有の認識や思考方法について、それらの概要を説明することができる。(専門的認識・思考)	電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系の専門分野の基礎知識を活用して自主的な学修を進めるとともに、卒業研究では研究成果をとりまとめ、その概要を説明することができる。(専門的技能)	社会が要求する問題を解決するために、科学技術に関する情報を自ら積極的に入手し、課題に関する分析や解決策について工学的見地から意見を述べることができる。(科学的分析・解決)
3E35	電磁エネルギー変換工学		◎	○
3E35	パワーエレクトロニクス		◎	○
3E35	高電圧工学		◎	○
3E35	電力発生工学		◎	○
3E35	電力系統工学		◎	○
4E35	電力応用工学		◎	○
3E35	情報通信工学		◎	○
3E35	音響通信工学		◎	○
3E35	画像処理工学		◎	○
3E35	環境電磁工学概論		◎	○
4E35	ネットワークプログラミング		◎	○
3E35	デジタル信号処理		◎	○
3E35	固体物性工学		◎	○
3E35	電気電子材料工学		◎	○
3E35	ナノテクノロジー工学		◎	○
3E35	電子デバイス工学		◎	○
4E35	集積デバイス工学		◎	○
3E35	化学材料工学		◎	○
1E12	特別講義			◎

電気電子工学科課程表（2021年度入学者より適用）

※開講学年前期後期欄 { ○○-前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考			
			1年			2年			3年			4年			必修					
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位						
教養教育科目	T G ベーシックス	聖書を学ぶ	半期	●	2												◎	◇電気電子工学科を卒業し、学士号を得るためには124単位以上を修得しなければならない。 4科目のうち1科目2単位を必修とする。計4単位まで卒業単位に算入することができる。		
		キリスト教の歴史と思想	半期		●	2											◎			
		キリスト教A(キリスト教と倫理)	半期							●	2								} ◎	
		キリスト教B(キリスト教と宗教)	半期							●	2									
		キリスト教C(キリスト教と文化)	半期							●	2									
		キリスト教D(キリスト教と現代社会)	半期							●	2									
		市民社会を生きる	半期		●	2														
		地球社会を生きる	半期	●	2														「人間の基礎」から10単位以上を修得すること。	
		科学技術社会を生きる	半期	●	2															
		キャリア形成と大学生活	半期	●	2															
	知的基礎	クリティカル・シンキング	半期		●	2												「知的基礎」から10単位以上を修得すること。		
		数理的思考の基礎	半期	●	2															
		統計的思考の基礎	半期	●	2															
		科学的思考の基礎	半期	●	2															
		情報化社会の基礎	半期	●	2															
		メディア・リテラシー	半期		●	2														
		読解・作文の技法	半期	●	2															
		研究・発表の技法	半期				●	2												
		人文社会	哲学	半期				●	2											「人文社会」から10単位以上を修得すること。
			芸術論	半期	●	2														
	歴史学		半期				●	2												
	心理学		半期				●	2												
	社会学		半期				●	2												
	経済学		半期					●	2											
	経営学		半期					●	2											
	法学		半期					●	2											
	日本国憲法		半期	●	2											◆必修				
	東北地域論		半期					●	2											
	東北学院の歴史	半期								●	2									
	自然科学	健康の科学	半期				●	2										「自然科学」から8単位以上を修得すること。		
生命の科学		半期		●	2															
情報リテラシー		半期	●	2											◆必修 ◎					
フレッシュパーソンセミナー		半期	●	1											◎					
基礎数学演習		半期	●	1																
基礎物理演習		半期		●	1															
基礎化学演習		半期	●	1																
技術者倫理		半期		●	2															
知的所有権	半期							●	2											
地域教育科目	震災と復興	半期	●	2													「地域教育科目」から2単位以上を修得すること。			
	地域の課題Ⅰ	半期				●	2								◎					
	地域の課題Ⅱ	半期					●	2												
	地域課題演習	通年									4									
外国語科目	第1類	英語ⅠA	半期	●	1											◎	「第1類」から必修4単位以上を修得すること。			
		英語ⅠB	半期		●	1										◎				
		英語ⅡA	半期				●	1								◎				
		英語ⅡB	半期					●	1							◎				
		英語コミュニケーションズ	半期					●	2							◆必修				
	第2類	ドイツ語	半期	●	2												週2回開講			
		フランス語	半期		●	2											週2回開講			
		中国語	半期	●	2												週2回開講			
	第3類	韓国・朝鮮語	半期		●	2											週2回開講			
		ベーシック英語	半期	●	1												「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」と「英語Ⅲ」は進級・卒業単位に含まない。			
英語Ⅲ	半期							●	1											
保健体育科目	体育講義	半期		●	2															
	スポーツ実技	通年	●	●	2										◆必修					
外国人留学生科目	第1類	日本事情A	半期		2											外国人留学生は、次により10単位までを外国人留学生科目の単位で代えることができる 日本事情Aは、教養教育科目学科教養科目の人文社会2単位 日本事情Bは、教養教育科目学科教養科目の自然科学2単位 日本事情Cは、保健体育科目の「体育講義」2単位 日本語ⅠAは「英語ⅠA」1単位、日本語ⅠBは「英語ⅠB」1単位 日本語ⅡAは「英語ⅡA」1単位、日本語ⅡBは「英語ⅡB」1単位				
		日本事情B	半期		2															
		日本事情C	半期		2															
	第2類	日本語ⅠA	半期	●	1															
		日本語ⅠB	半期		●	1														
		日本語ⅡA	半期				●	1												
日本語ⅡB	半期					●	1													

※開講学年前期後期欄 { ○○-前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考	
			1年			2年			3年			4年			必修			
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
教育職員免許状の教科に関する科目	工業技術概論	半期													●	2	◆必修	
	工学系の職業指導	半期													●	2	◆必修	
	電気電子系の職業指導	半期													●	2	◆必修	
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2												◆必修	
	教育基礎論	半期	●		2												◆必修	
	教育の制度と経営	半期		●	2												◆必修	
	教育心理学	半期						2									◆必修	
	教育課程論	半期				●		2									◆必修	
	教育の方法と技術	半期						2									◆必修	
	教育相談の理論と方法	半期						2									◆必修	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2									◆必修	
	工業科教育法(概論・理論)	半期							●		2						◆必修	
	工業科教育法(実践・応用)	半期								●	2						◆必修	
	特別支援教育論	半期									2						◆必修	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2						◆必修	
	教育実習Ⅰ	通年														3	◆必修	
教職実践演習(中・高)	半期													●	2	◆必修		

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	38
		知的基礎	10	
	学科教養科目	人文社会	10	
		自然科学	8	
地域教育科目		2		
外国語科目	第1類(必修)	4		
学部共通専門科目		28		
学科専門科目	基礎科目		26	52
	基盤科目	第1類	8	
		第2類	4	
応用科目		10		
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第1類～第2類、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計8単位まで)				
卒業単位				124

4年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類～第2類	
学部共通専門科目	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと)	38
1 電気・電子工学実験Ⅰ	
2 電気・電子工学実験Ⅱ	
3 電気・電子工学実験Ⅲ	
4 電気・電子工学実験Ⅳ	
進級単位	100

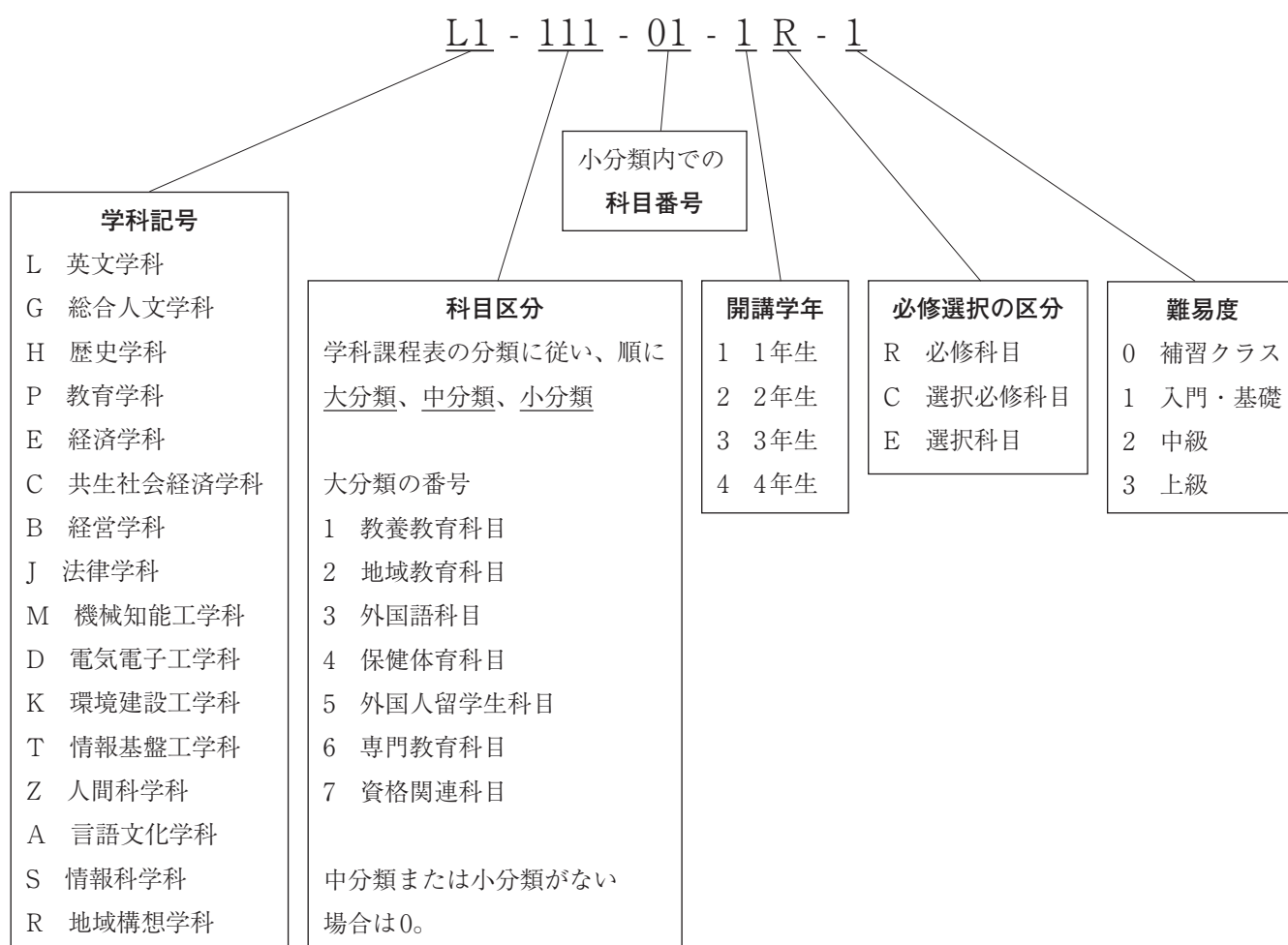
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
D0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
D0-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
D0-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
D0-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
D0-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
D0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
D0-111-08-1E-1	地球社会を生きる			◎		
D0-111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			◎		
D0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
D0-112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
D0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
D0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
D0-112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
D0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
D0-112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
D0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
D0-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎			
D0-121-01-2E-1	哲学			◎		○
D0-121-02-1E-1	芸術論			◎		○
D0-121-03-2E-1	歴史学			◎		○
D0-121-04-2E-1	心理学			◎		○
D0-121-05-2E-1	社会学			◎		○
D0-121-06-2E-1	経済学			◎		○
D0-121-07-2E-1	経営学			◎		○
D0-121-08-2E-1	法学			◎		○
D0-121-09-1E-1	日本国憲法			◎		○
D0-121-10-2E-1	東北地域論			◎		○
D0-121-11-3E-1	東北学院の歴史	○		◎		
D0-122-01-2E-1	健康の科学			◎		○
D0-122-02-1E-1	生命の科学			◎		○
D0-122-03-1R-1	情報リテラシー			◎		○
D0-122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー				◎	○
D0-122-05-1E-1	基礎数学演習				◎	○
D0-122-06-1E-1	基礎物理演習				◎	○
D0-122-07-1E-1	基礎化学演習				◎	○
D0-122-08-1E-1	技術者倫理			◎		○
D0-122-09-3E-1	知的所有権			◎		○
D0-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
D0-200-02-2R-1	地域の課題 I					◎
D0-200-03-2E-1	地域の課題 II					◎
D0-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
D0-310-01-1R-1	英語 I A		◎	○		
D0-310-02-1R-1	英語 I B		◎	○		
D0-310-03-2R-2	英語 II A		◎	○		
D0-310-04-2R-2	英語 II B		◎	○		
D0-310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		◎	○		
D0-320-01-1E-1	ドイツ語		◎	○		
D0-320-02-1E-1	フランス語		◎	○		
D0-320-03-1E-1	中国語		◎	○		
D0-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		◎	○		
D0-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
D0-330-02-3E-3	英語 III		◎	○		
D0-400-01-1E-1	体育講義			◎		
D0-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
D0-510-01-1E-1	日本事情A		◎	○		
D0-510-02-1E-1	日本事情B		◎	○		
D0-510-03-1E-1	日本事情C		◎	○		
D0-520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○		
D0-520-02-2E-2	日本語 I B		◎	○		
D0-520-03-1E-1	日本語 II A		◎	○		
D0-520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-610-01-1R-1	物理学 I		◎	○		
D0-610-02-2E-2	物理学 II		◎	○		
D0-610-03-1R-1	微分積分学 I		◎	○		
D0-610-04-1R-2	微分積分学 II		◎	○		
D0-610-05-1R-1	線形代数学		◎	○		
D0-610-06-1E-1	自然科学実験ファンダメンタルズ		◎	○		
D0-610-07-2E-2	微分方程式		◎	○		
D0-610-08-2E-2	フーリエ解析		◎	○		
D0-610-09-2E-2	確率統計学		◎	○		
D0-610-10-1R-1	プログラミング基礎		○		◎	
D0-610-11-2E-2	プログラミング応用		○		◎	
D0-610-12-3E-2	工業英語		◎		○	
D0-610-13-2R-2	工学総合演習 I				○	◎
D0-610-14-3R-2	工学総合演習 II				○	◎
D0-610-15-3R-2	ジュニアセミナー				○	◎
D0-610-16-4R-1	卒業研究 I				○	◎
D0-610-17-4R-2	卒業研究 II				○	◎
D0-610-18-3E-1	学外見学			○	◎	
D0-610-19-3E-1	インターンシップ				○	◎
D0-610-20-3E-1	キャリア・デザイン				○	◎
D0-610-21-2E-2	海外研究 I			○		◎
D0-610-22-2E-2	海外研究 II			○		◎
D0-620-01-2R-2	電磁気学 I		○		◎	
D0-620-02-2R-2	電磁気学演習 I		○		◎	
D0-620-03-2R-2	電磁気学 II		○		◎	
D0-620-04-2E-2	電磁気学演習 II		○		◎	
D0-620-05-2R-2	電気回路学 I		○		◎	
D0-620-06-2R-2	電気回路学演習 I		○		◎	
D0-620-07-2R-2	電気回路学 II		○		◎	
D0-620-08-2E-2	電気回路学演習 II		○		◎	
D0-620-09-1R-1	電力・制御基礎工学		○		◎	
D0-620-10-1R-1	情報・通信基礎工学		○		◎	
D0-620-11-1R-1	電子・材料基礎工学		○		◎	
D0-620-12-3E-2	アナログ電子回路学		○		◎	
D0-620-13-3E-2	デジタル電子回路学		○		◎	
D0-620-14-2E-2	電気・電子基礎計測		○		◎	
D0-620-15-2R-1	電気・電子工学実験 I		○		◎	
D0-620-16-2R-1	電気・電子工学実験 II		○		◎	
D0-620-17-3R-2	電気・電子工学実験 III		○		◎	
D0-620-18-3R-2	電気・電子工学実験 IV		○		◎	
D0-631-01-2E-2	ベクトル解析		○		◎	
D0-631-02-4E-2	電波法		○		◎	
D0-631-03-4E-2	通信システム概論		○		◎	
D0-631-04-4E-2	電気法規及び施設管理		○		◎	
D0-631-05-4E-2	電気機械設計製図		○		◎	
D0-632-01-3E-2	制御工学		○		◎	
D0-632-02-3E-2	システム工学		○		◎	
D0-632-03-2E-2	ハードウェア工学		○		◎	
D0-632-04-3E-2	ソフトウェア工学		○		◎	
D0-632-05-2E-2	電子物性工学		○		◎	
D0-632-06-3E-2	電子機械工学		○		◎	
D0-641-01-3E-3	電磁エネルギー変換工学		○		◎	
D0-641-02-3E-3	パワーエレクトロニクス		○		◎	
D0-641-03-3E-3	高電圧工学		○		◎	
D0-641-04-3E-3	電力発生工学		○		◎	
D0-641-05-3E-3	電力系統工学		○		◎	
D0-641-06-4E-3	電力応用工学		○		◎	
D0-642-01-3E-3	情報通信工学		○		◎	
D0-642-02-3E-3	電磁波工学		○		◎	
D0-642-03-3E-3	音響通信工学		○		◎	
D0-642-04-3E-3	画像処理工学		○		◎	
D0-642-05-4E-3	ネットワークプログラミング		○		◎	
D0-642-06-3E-3	デジタル信号処理		○		◎	
D0-643-01-3E-3	固体物性工学		○		◎	
D0-643-02-3E-3	電気電子材料工学		○		◎	
D0-643-03-3E-3	ナノテクノロジー工学		○		◎	
D0-643-04-3E-3	電子デバイス工学		○		◎	
D0-643-05-4E-3	集積デバイス工学		○		◎	
D0-643-06-3E-3	化学材料工学		○		◎	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)			
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる
D0-650-01-1E-1	特別講義		◎	○	
D0-701-01-4R-2	工業技術概論			○	◎
D0-701-02-4R-2	工学系の職業指導			○	◎
D0-701-03-4R-2	電気電子系の職業指導			○	◎
D0-702-01-1R-1	現代教職論			◎	
D0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎	
D0-702-03-1R-2	教育の制度と経営			◎	
D0-702-04-2R-2	教育心理学			◎	
D0-702-05-2R-2	教育課程論			◎	
D0-702-06-2R-2	教育の方法と技術			◎	
D0-702-07-2R-2	教育相談の理論と方法			◎	
D0-702-08-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎	
D0-702-09-3R-3	工業科教育法(概論・理論)			○	◎
D0-702-10-3R-3	工業科教育法(実践・応用)			○	◎
D0-702-11-3R-3	特別支援教育論			○	◎
D0-702-12-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎
D0-702-13-4R-3	教育実習 I				○ ◎
D0-702-14-4R-3	教職実践演習(中・高)			○	◎

※開講学年前期後期欄 { ○○-前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。
空欄-開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												資格		備考	
			1年			2年			3年			4年			必修			
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
教育職員免許状の教科に関する科目	工業技術概論	半期													●	2	◆必修	
	工学系の職業指導	半期													●	2	◆必修	
	電気電子系の職業指導	半期													●	2	◆必修	
教職等に関する科目	現代教職論	半期			2												◆必修	
	教育基礎論	半期	●		2												◆必修	
	教育の制度と経営	半期		●	2												◆必修	
	教育心理学	半期						2									◆必修	
	教育課程論	半期				●		2									◆必修	
	教育の方法と技術	半期						2									◆必修	
	教育相談の理論と方法	半期						2									◆必修	
	生徒指導・進路指導の理論と方法	半期						2									◆必修	
	工業科教育法(概論・理論)	半期							●		2						◆必修	
	工業科教育法(実践・応用)	半期								●	2						◆必修	
	特別支援教育論	半期									2						◆必修	
	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期									2						◆必修	
	教育実習Ⅰ	通年														3	◆必修	
	教職実践演習(中・高)	半期													●	2	◆必修	

卒業に必要な最低修得単位数

教養教育科目	TG ベーシック	人間的基礎	10	38
		知的基礎	10	
	学科教養科目	人文社会	10	
		自然科学	8	
地域教育科目		2		
外国語科目	第1類(必修)	4		
学部共通専門科目		28		
学科専門科目	基礎科目		26	52
	基盤科目	第1類	8	
		第2類		
応用科目		10		
教養教育科目、地域教育科目、外国語科目第1類～第2類、保健体育科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目 (合計8単位まで)				
卒業単位				124

4年次進級に必要な最低修得単位数

教養教育科目及び地域教育科目	40
外国語科目第1類～第2類	
学部共通専門科目	22
学科専門科目 (以下の必修科目を含むこと)	38
1 電気・電子工学実験Ⅰ	
2 電気・電子工学実験Ⅱ	
3 電気・電子工学実験Ⅲ	
4 電気・電子工学実験Ⅳ	
進級単位	100

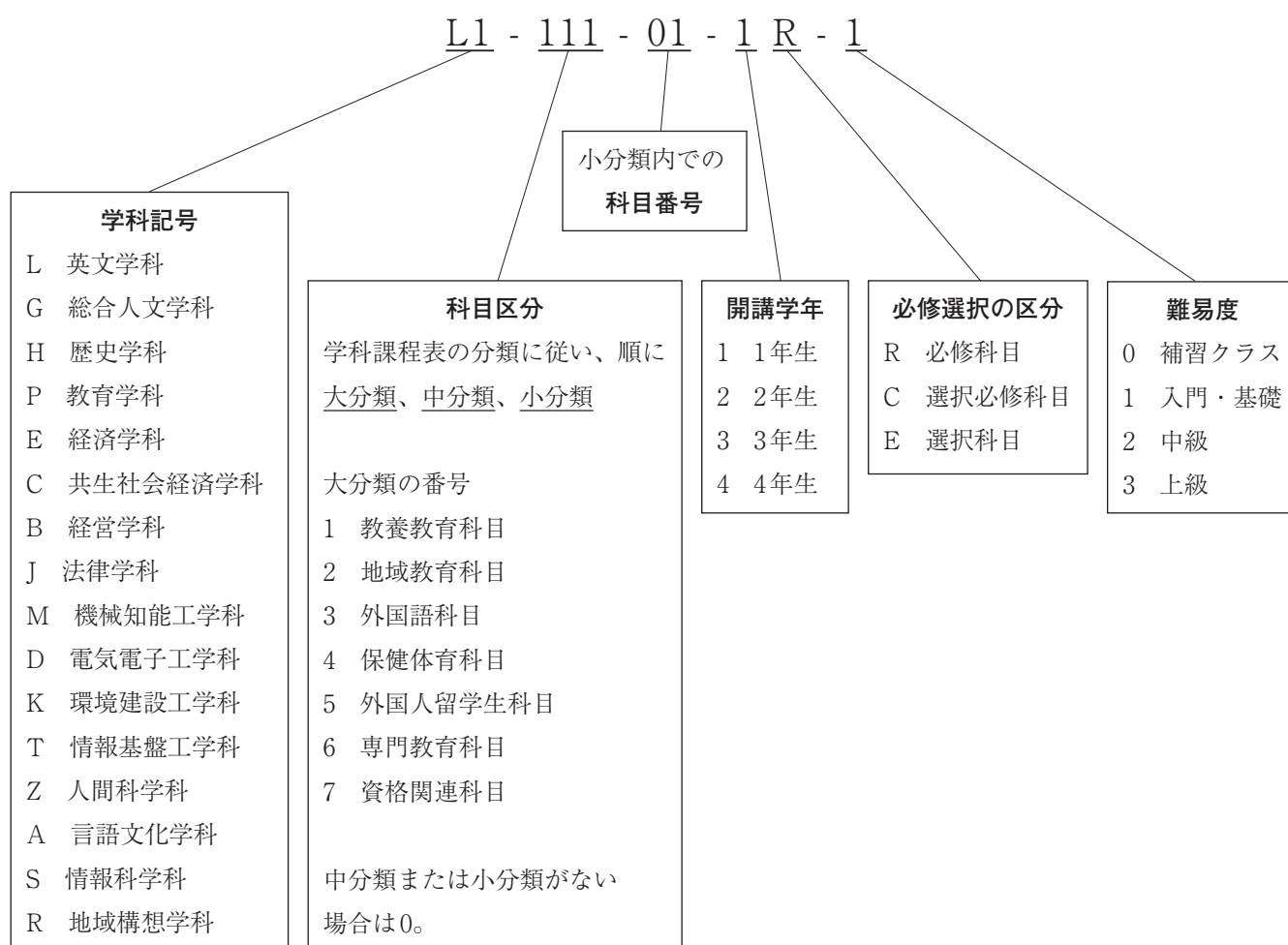
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えが 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○		
D0-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○		
D0-111-03-3C-2	キリスト教学A (キリスト教と倫理)	◎		○		
D0-111-04-3C-2	キリスト教学B (キリスト教と宗教)	◎		○		
D0-111-05-3C-2	キリスト教学C (キリスト教と文化)	◎		○		
D0-111-06-3C-2	キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	◎		○		
D0-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎		
D0-111-08-1E-1	地球社会を生きる			◎		
D0-111-09-1E-1	科学技術社会を生きる			◎		
D0-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎		
D0-112-01-1E-1	クリティカル・シンキング		◎	○		
D0-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎			
D0-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎			
D0-112-04-1E-1	科学的思考の基礎		◎	○		
D0-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○		
D0-112-06-1E-1	メディア・リテラシー		◎	◎		
D0-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎			
D0-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎			
D0-121-01-2E-1	哲学			◎		○
D0-121-02-1E-1	芸術論			◎		○
D0-121-03-2E-1	歴史学			◎		○
D0-121-04-2E-1	心理学			◎		○
D0-121-05-2E-1	社会学			◎		○
D0-121-06-2E-1	経済学			◎		○
D0-121-07-2E-1	経営学			◎		○
D0-121-08-2E-1	法学			◎		○
D0-121-09-1E-1	日本国憲法			◎		○
D0-121-10-2E-1	東北地域論			◎		○
D0-122-01-2E-1	健康の科学			◎		○
D0-122-02-1E-1	生命の科学			◎		○
D0-122-03-1R-1	情報リテラシー			◎		○
D0-122-04-1R-1	フレッシュパーソンセミナー				◎	○
D0-122-05-1E-1	基礎数学演習				◎	○
D0-122-06-1E-1	基礎物理演習				◎	○
D0-122-07-1E-1	基礎化学演習				◎	○
D0-122-08-1E-1	技術者倫理			◎		○
D0-122-09-3E-1	知的所有権			◎		○
D0-200-01-1E-1	震災と復興			○		◎
D0-200-02-2R-1	地域の課題 I					◎
D0-200-03-2E-1	地域の課題 II					◎
D0-200-04-3E-2	地域課題演習					◎
D0-310-01-1R-1	英語 I A		◎	○		
D0-310-02-1R-1	英語 I B		◎	○		
D0-310-03-2R-2	英語 II A		◎	○		
D0-310-04-2R-2	英語 II B		◎	○		
D0-310-05-2E-2	英語コミュニケーションズ		◎	○		
D0-320-01-1E-1	ドイツ語		◎	○		
D0-320-02-1E-1	フランス語		◎	○		
D0-320-03-1E-1	中国語		◎	○		
D0-320-04-1E-1	韓国・朝鮮語		◎	○		
D0-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎			
D0-330-02-3E-3	英語 III		◎	○		
D0-400-01-1E-1	体育講義			◎		
D0-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎		
D0-510-01-1E-1	日本事情 A		◎	○		
D0-510-02-1E-1	日本事情 B		◎	○		
D0-510-03-1E-1	日本事情 C		◎	○		
D0-520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○		
D0-520-02-2E-2	日本語 I B		◎	○		
D0-520-03-1E-1	日本語 II A		◎	○		
D0-520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○		

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察が できる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-610-01-1R-1	物理学Ⅰ		◎	○		
D0-610-02-2E-2	物理学Ⅱ		◎	○		
D0-610-03-1R-1	微分積分学Ⅰ		◎	○		
D0-610-04-1R-2	微分積分学Ⅱ		◎	○		
D0-610-05-1R-1	線形代数学		◎	○		
D0-610-06-1E-1	自然科学実験ファンダメンタルズ		◎	○		
D0-610-07-2E-2	微分方程式		◎	○		
D0-610-08-2E-2	フーリエ解析		◎	○		
D0-610-09-2E-2	確率統計学		◎	○		
D0-610-10-1R-1	プログラミング基礎		○		◎	
D0-610-11-2E-2	プログラミング応用		○		◎	
D0-610-12-3E-2	工業英語		◎		○	
D0-610-13-2R-2	工学総合演習Ⅰ				○	◎
D0-610-14-3R-2	工学総合演習Ⅱ				○	◎
D0-610-15-3R-2	ジュニアセミナー				○	◎
D0-610-16-4R-1	卒業研究Ⅰ				○	◎
D0-610-17-4R-2	卒業研究Ⅱ				○	◎
D0-610-18-3E-1	学外見学			○	◎	
D0-610-19-3E-1	インターンシップ				○	◎
D0-610-20-3E-1	キャリア・デザイン				○	◎
D0-610-21-2E-2	海外研究Ⅰ			○		◎
D0-610-22-2E-2	海外研究Ⅱ			○		◎
D0-620-01-2R-2	電磁気学Ⅰ		○		◎	
D0-620-02-2R-2	電磁気学演習Ⅰ		○		◎	
D0-620-03-2R-2	電磁気学Ⅱ		○		◎	
D0-620-04-2E-2	電磁気学演習Ⅱ		○		◎	
D0-620-05-2R-2	電気回路学Ⅰ		○		◎	
D0-620-06-2R-2	電気回路学演習Ⅰ		○		◎	
D0-620-07-2R-2	電気回路学Ⅱ		○		◎	
D0-620-08-2E-2	電気回路学演習Ⅱ		○		◎	
D0-620-09-1R-1	電力・制御基礎工学		○		◎	
D0-620-10-1R-1	情報・通信基礎工学		○		◎	
D0-620-11-1R-1	電子・材料基礎工学		○		◎	
D0-620-12-3E-2	アナログ電子回路学		○		◎	
D0-620-13-3E-2	デジタル電子回路学		○		◎	
D0-620-14-2E-2	電気・電子基礎計測		○		◎	
D0-620-15-2R-1	電気・電子工学実験Ⅰ		○		◎	
D0-620-16-2R-1	電気・電子工学実験Ⅱ		○		◎	
D0-620-17-3R-2	電気・電子工学実験Ⅲ		○		◎	
D0-620-18-3R-2	電気・電子工学実験Ⅳ		○		◎	
D0-631-01-2E-2	ベクトル解析		○		◎	
D0-631-02-4E-2	電波法		○		◎	
D0-631-03-4E-2	通信システム概論		○		◎	
D0-631-04-4E-2	電気法規及び施設管理		○		◎	
D0-631-05-4E-2	電気機械設計製図		○		◎	
D0-632-01-3E-2	制御工学		○		◎	
D0-632-02-3E-2	システム工学		○		◎	
D0-632-03-2E-2	ハードウェア工学		○		◎	
D0-632-04-3E-2	ソフトウェア工学		○		◎	
D0-632-05-2E-2	電子物性工学		○		◎	
D0-632-06-3E-2	電子機械工学		○		◎	
D0-641-01-3E-3	電磁エネルギー変換工学		○		◎	
D0-641-02-3E-3	パワーエレクトロニクス		○		◎	
D0-641-03-3E-3	高電圧工学		○		◎	
D0-641-04-3E-3	電力発生工学		○		◎	
D0-641-05-3E-3	電力系統工学		○		◎	
D0-641-06-4E-3	電力応用工学		○		◎	
D0-642-01-3E-3	情報通信工学		○		◎	
D0-642-02-3E-3	電磁波工学		○		◎	
D0-642-03-3E-3	音響通信工学		○		◎	
D0-642-04-3E-3	画像処理工学		○		◎	
D0-642-05-4E-3	ネットワークプログラミング		○		◎	
D0-642-06-3E-3	デジタル信号処理		○		◎	
D0-643-01-3E-3	固体物性工学		○		◎	
D0-643-02-3E-3	電気電子材料工学		○		◎	
D0-643-03-3E-3	ナノテクノロジー工学		○		◎	
D0-643-04-3E-3	電子デバイス工学		○		◎	
D0-643-05-4E-3	集積デバイス工学		○		◎	
D0-643-06-3E-3	化学材料工学		○		◎	

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを 踏まえた考察がで きる	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる	専攻分野の専門的 知識とそれを支え る認識や思考の方 法を説明できる	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を総合的に 活用できる
D0-650-01-1E-1	特別講義		◎	○		
D0-701-01-4R-2	工業技術概論			○	◎	
D0-701-02-4R-2	工学系の職業指導			○	◎	
D0-701-03-4R-2	電気電子系の職業指導			○	◎	
D0-702-01-1R-1	現代教職論			◎		
D0-702-02-1R-1	教育基礎論			◎		
D0-702-03-1R-2	教育の制度と経営			◎		
D0-702-04-2R-2	教育心理学			◎		
D0-702-05-2R-2	教育課程論			◎		
D0-702-06-2R-2	教育の方法と技術			◎		
D0-702-07-2R-2	教育相談の理論と方法			◎		
D0-702-08-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎		
D0-702-09-3R-3	工業科教育法(概論・理論)			○	◎	
D0-702-10-3R-3	工業科教育法(実践・応用)			○	◎	
D0-702-11-3R-3	特別支援教育論			○	◎	
D0-702-12-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○	◎	
D0-702-13-4R-3	教育実習 I				○	◎
D0-702-14-4R-3	教職実践演習(中・高)			○		◎